

山口情報芸術センター[YCAM] 2020年度事業ラインナップ

YCAMの2020年が始動！

多種多様なイベントから「世界」を見つめ直す

山口情報芸術センター [YCAM] では、2003年の開館以来、メディアテクノロジーを軸とした新しい表現の探求を目指し、展覧会や公演、ワークショップや映画上映など、幅広いアプローチで山口から世界に向けて発信してまいりました。

現在、世界は新型コロナウイルス感染症の世界的流行に直面し、文化施設においても、イベントの開催の手法が再考され、社会における文化のあり方も問い直されています。開館から18年目を迎える2020年度は、こうした困難な状況の中におけるアートやテクノロジーの社会的な役割について再考しながら、研究開発プロジェクトを軸にアーティストなどの各分野の専門家や市民とコラボレーションをおこない、作品制作やワークショップ開発などを推進していきます。この中には、インターネットを活用した新しい体験の創出や、また市民社会とアートセンターとの関係性を改めて捉え直す事業が含まれます。

これらのイベントを通じて、「ともにづくり、ともに学ぶ」という活動理念の実現を目指すとともに、公共施設のさらなる可能性、そして次世代を担う人材の育成を進めていきます。この機会にぜひご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山並みの屋根が特徴的なYCAMの外観（撮影：勝村祐紀）

坂本龍一+高谷史郎インスタレーション展

展覧会

water state 1

10月3日(土)～12月6日(日)



坂本龍一+高谷史郎《water state 1》(2013年)
撮影：丸尾隆一 (YCAM)

呼応する水の様態とサウンド

音楽家の坂本龍一とアーティストの高谷史郎が、2013年にYCAMで制作／発表したインスタレーション作品《water state1》の展示です。山口市をはじめとする山口県央連携都市圏域で開催する「山口ゆめ回廊博覧会」の一環として開催します。

本作は、水が見せるさまざまな表情を、水そのものを素材に表現したインスタレーション作品で、作品中央の漆黒の水面には、水滴が落ち、波紋が広がり、それと呼応するように繊細なサウンドが会場を包み込みます。時間とともに水滴の落ちる量や場所が変化し、水滴に合わせ、広がり、干渉しあう波紋とサウンドが、重なり合いながら静寂の中に消えていきます。

坂本龍一+YCAM InterLab インスタレーション展

展覧会

Forest Symphony

10月3日(土)～12月6日(日)



坂本龍一+YCAM InterLab《Forest Symphony》(2013年)
撮影：丸尾隆一 (YCAM)

森が奏でる交響曲

音楽家の坂本龍一が、2013年にYCAMで制作／発表したインスタレーション作品《Forest Symphony》の展示です。《water state1》と同じく、「山口ゆめ回廊博覧会」の一環として開催します。

2013年にYCAMで本作を発表した際には、会期中、世界各地の樹木の生体電位、並びに周囲の環境データが展覧会場へと送信され、それらのデータは坂本のディレクションによって音楽へと変換され、会場で奏でられました。そして、環境の情報をビジュアライズした映像が、会場を包み込むサウンドスケープと統合。季節や天候に応じて変化を続ける〈森のような空間〉が出現しました。

本展示は、2013年の展示時に集められたデータを元に常栄寺、雪舟庭の空間に合わせてアップデートしたものとなります。

イベント オンライン

【終了】YCAMスポーツハッカソン2020

5月3日(日)～5日(火・祝)



ビデオ会議システムを用いて運動会種目を開発している様子(2020年)
撮影：谷康弘

でも、スポーツは作れる！

「デベロッパレイ」で運動会をハックせよ

メディア・テクノロジーを駆使して新しいスポーツのアイデアを実現する、3日間のスポーツクリエイション合宿です。

このイベントでは、開発(デベロッパ)と実践(プレイ)を繰り返す「デベロッパレイ」と呼ばれる制作手法を中心に、2日間に渡って頭と身体をフル回転させながら、オンラインで出来るスポーツをつくっていきます。新種目の開発には、リモートワークでお馴染みになってきたオンライン会議システムや、参加者の自宅にある日用品のほか、YCAMが開発したオリジナルのツールも使用。多くの人々が楽しめる超・最先端の運動会種目を開発します。また、最終日には開発した競技を楽しむ「第5回 未来の山口の運動会」を同じくオンラインで開催します。

イベント オンライン

【終了】第5回 未来の山口の運動会

5月5日(火・祝)



参加者による集合写真(2020年)
撮影：谷康弘

でも、みんなでやる！

全種目が世界初実施の超・最先端の運動会！

「YCAMスポーツハッカソン2020」で開発した種目を、参加者全員でチームに分かれ運動会形式で実施します。5回目の開催となる今回は、会場をYCAMからオンラインへ移し、動画配信サービスを使用して行います。会場は変わっても、さまざまなメディア・テクノロジーやアイデアが詰め込まれた「未来の運動会」の種目が多数登場。実施する競技はみなさまのご自宅で自由にお楽しみいただけるよう、可能な範囲でそのルールなどをまとめた資料をイベント終了後に公開します。学校や地域でおこなわれる運動会とは一味違う未来の運動会をお楽しみください。

YCAMオープンラボ2020

イベント オンライン

[終了] 続・ナマモノのあつかいかた

6月7日(日)～8月2日(日) 全9回



イベント開催の様子(2020年)
撮影: 谷康弘

世界のラボと考える

新型コロナウイルス以降の「ラボの現在と可能性」

今日におけるアートやテクノロジー、研究開発のあり方を捉え直すオンラインのトークイベントです。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行に直面する今日、このイベントではこうした状況に対して、バイオテクノロジーに関するオルタナティブな活動を展開する国内外のアーティストや研究者らとともに、現在の状況における取り組みについてオンラインでトークセッションを実施します。このイベントを通じて、バイオテクノロジーが社会で果たす役割についてはもちろん、生命と文化の関わりや、これからの公共施設のさらなる可能性を描き出します。

展覧会 オンライン

quartets online

2020年9月9日(水)～2021年9月8日(水)



更新されつづけるアンサンブル

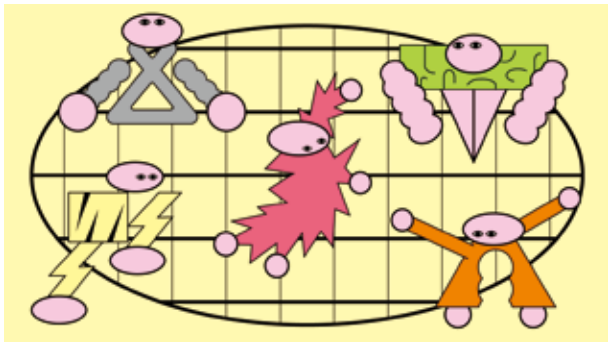
音楽家の大友良英をはじめとする数多くのアーティストの共作によるインスタレーション作品《quartets》のオンライン版《quartets online》を発表する展覧会です。《quartets online》は、2008年にYCAMが発表した音楽家・大友良英らのインスタレーション作品《quartets》をオンラインで鑑賞できるようにした新作です。インターネットにこだまする、音楽家たちの儚く繊細なアンサンブルは、経験の基盤としての空間や時間の今日的な意味や、人と人との距離について、改めて考えるきっかけとなり、《quartets》とはまた異なる響きをもたらすでしょう。

篠田千明 新作オンライン・パフォーマンス公演

公演 オンライン

5×5×5本足の椅子

11月22日(日)、23日(月)



オンラインにおける「劇場空間」とは何か

演劇作家・演出家の篠田千明による新作オンライン・パフォーマンス作品『5×5×5本足の椅子』を発表する公演です。

今回発表する新作は、ダンサーであるアンナ・ハルプリンの『5本足の椅子』(1962年)のダンススコアをもとに、篠田が2014年に制作/発表したパフォーマンス作品『5×5 Legged Stool』をオンラインで展開するものです。半世紀以上前の作品に新しい解釈を与える、新たな価値を引き出そうとする本作は、「演劇とは何か」を問い続ける篠田の活動を体現する作品です。身体の動き、およびそれを取り巻く状況を時間と空間の両面を拡張したかたちで展開する本作は、オンラインにおける劇場空間のあり方や、今日における新たな身体像を提示するでしょう。

鎖国[Walled Garden]プロジェクト： ワークショップ&トーク

イベント オンライン

2021年2月6日(土)、7日(日)



参考写真：ローレン・マッカーシー+カイル・マクドナルド《Social Soul》

インターネットが映し出すあなたの姿

未来の世界でのコミュニケーションのあり方をテーマとしたワークショップとトークイベントです。参加者の体験をもとに作品を創作することを目指す、アーティストのカイル・マクドナルドとYCAMの共同研究開発プロジェクト「鎖国プロジェクト [Walled Garden]」の一環として実施します。

ワークショップでは、オンライン・コミュニケーションが成熟するにつれ健在化してきたフェイクニュースの流布や、個人情報の流出といった身近なトピックを切り口にゲーム型のアクティビティをおこないます。またトークイベントでは、研究者なども招聘し20年後の世界に必要なプラットフォームや方策についてディスカッションをおこないます。

カンパニーデラシネラ 演劇公演

公演

【終了】ドン・キホーテ

【終了】9月25日(金)～26日(土)



「演劇×ダンス」が魅せるドン・キホーテ

パントマイム出身で演出家の小野寺修二が主宰するカンパニーデラシネラの演劇作品を上演する公演です。身体性に富んだ舞台作品を数多く発表するカンパニーデラシネラが、スペインの作家・ミゲル・デ・セルバンテスによる小説『ドン・キホーテ』を舞台化。演劇とダンスが巧みに交わる作品に仕上げました。本作ではパフォーマーだけでなく、プロダクトデザイナーの石黒猛による電動で動き出す様々な小道具たちも登場することで、空想と現実が入り乱れていき、観る者を非日常の空間へと誘います。

sound tectonics #24

イベント オンライン

【終了】MYSTIC RHYTHM

9月9日(水)



伝統と革新の交錯から生まれる新しい音楽表現

国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズ「sound tectonics (サウンド・テクトニクス)」の第24弾です。今回は、オーストリアのリンツで毎年開催されている世界最大規模のメディアアートの祭典「アルス・エレクトロニカ・フェスティバル」にYCAMが参加し、その一環としてオンラインで開催します。

現代的なオーディオ・テクノロジーと、伝統的なサウンドとの間に生まれる新たな可能性をテーマに、Senyawa (スニャワ) と西原鶴真の2組によるパフォーマンスを披露します。「文化的混合物」とも言えるミュージシャンたちの交差は、時間を超え、場所を超え、世界中の観客にユニークな体験をもたらすでしょう。

イベント

【終了】アートってどうみたらいいの？と思ったことがある人へ

9月27日(日)、28日(月)



イベントの様子(2020年)
撮影：谷康弘

アート鑑賞は難しい？

作品の魅力を発見するコツをお伝えします！

芸術作品をより楽しんで鑑賞したり、理解する面白さを深めるための公開講座です。

YCAMがこれまで実施してきたギャラリーツアーやワークショップなどの教育普及プログラムでは、参加者からよく寄せられる意見として、「美術館では静かに作品を鑑賞するもの」「専門的な知識がないとアート鑑賞は難しい」といったものが挙げられます。

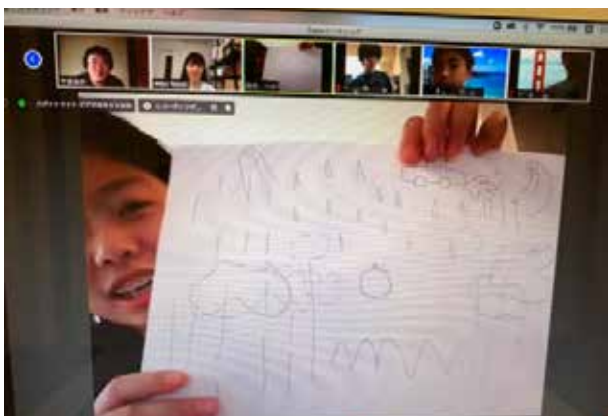
このイベントでは、美術館における鑑賞教育の専門家を講師に迎え、作品鑑賞の際に鑑賞者の中に生まれる「分からない」という感覚を出発点に、作品鑑賞をより楽しいものに変化させるための「コツ」を、ワークショップや作品の鑑賞会などを交えながらお伝えします。

未来の山口の授業

音景クルーズ

イベント オンライン

2020年11月7日(土)～2021年1月10日(日) 全8回



参考写真：代官山ティーンズ・クリエイティブ「アートスクール」より
「Sound Mine Workshop ~音の景色を集めよう~」の様子(2020)

聞こえた音は、どんな形？どんな色？

音にまつわる新たなワークショップをオンラインで実施！

音から得た「イメージ」を参加者同士で共有することで、「音」と「空間」の関わりについて学ぶ教育プログラムです。YCAMが開発した教育プログラムを紹介するイベントシリーズ「未来の山口の授業」の一環としてオンラインで実施します。参加者はワークショップ内で、身近な空間の特性を再認識させたり、様々なイメージを人に喚起させるような音を収集します。そして他の参加者が収録した音と聴き比べ、意見を交換することで、私たちが音からどのような情報を得ているか、音を起点とした想像力の可能性について理解を深めていきます。

【終了】真夏の夜の星空上映会

8月7日(金)～9日(日)



イベント開催の様子(2020年)
撮影:谷康弘

YCAM夏の風物詩、今年も開催!

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。

涼しい夜空の下で、お友だちやご家族と映画をお楽しみいただけます。今年も幅広いみなさまに楽しんでいただける作品の上映をおこなうほか、2020年3月に開催した「はじめての映画制作ワークショップ」で生まれた山口の中高生たちの映画の上映も予定しています。

YCAM 爆音映画祭 2020

12月4日(金)～6日(日)



2016年に開催した「YCAM爆音映画祭2016」でのライブパフォーマンスの様子

日本最強の爆音映画祭、今年も出現!

繊細な大音響で映画を体感することで、これまでにない映画体験を創造する上映イベントです。

「爆音映画祭」とは、映画批評家の樋口泰人が国内外で開催している上映イベントで、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞するものです。YCAMでは2013年から毎年開催しており、国内でも最高レベルの音響環境と言われるスタジオAを会場に、毎年工夫に溢れたセッティングで上映をおこなうことから、ファンからは「日本最強」と謳われています。YCAMが誇る充実の音響環境を十全に使い、今回も往年の名作から話題の新作まで、幅広いラインナップを爆音でお届けします。

YCAM シネマ

毎週木～日曜日、祝日を中心に開催



会場となるスタジオC
撮影：勝村祐紀

古典から最新作まで幅広く上映

国内外の優れた映画作品を紹介する上映会を週末を中心に開催しています。映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、今年も古典から最新作まで幅広い時代の、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。

また上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催予定です。

■ ホー・ツーニエン新作展

2021年4月3日(土)～7月4日(日)



参考写真：ホー・ツーニエン《旅館アポリア》(2019年)
photographs by Takeshi Hirabayashi
courtesy of Artist, Aichi Triennale and Edouard Malingue Gallery

「アジア」を捉え直す

シンガポールを代表するアーティスト、ホー・ツーニエンによる新作を発表する展覧会です。

映像やインスタレーション、舞台作品を中心に活動してきたホー・ツーニエンと、これまで美術、舞台芸術、映画といった分野で知見を培ってきたYCAM、そして、日本のアニメーターなどがコラボレーションし、新作VRアニメーション作品を制作。劇場スペースとして用いられるスタジオAを会場に発表します。作品では西田幾多郎が基礎を築いた西洋哲学研究の学派である「京都学派」を取り上げ、「アジア」を捉え直します。

■ YCAM performance lounge #7

■ 搬入プロジェクト 山口・中園町計画

2021年7月24日(土)



参考図版：京都市立芸術大学での実験の様子
撮影：吉見峻

巨大物体をYCAMに搬入せよ

あの演劇プロジェクトが山口に上陸！

現在生まれつつある新しい身体表現の魅力をダイレクトに伝えるシリーズ企画「YCAM performance lounge (パフォーマンス・ラウンジ)」の第7弾です。パフォーマンス集団・悪魔のしるしの代表的な演劇プロジェクトのひとつ《搬入プロジェクト》を実施します。

本作は、建物内にかろうじて入る大きさ・形状に設計された巨大な物体を、人力で館内に搬入する様子を演劇として提示する作品で、これまでに世界各国の20箇所以上で実施されてきました。劇団主宰者である危口統之の死去後、本作はパブリックドメイン化しており、今回実施するのはYCAMがアレンジしたものとなります。

搬入後は、搬入した物体のほか、制作過程などをまとめた資料を館内ホワイエにて展示します。